

陸前高田市まちづくり総合計画 体系図



基本理念	基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値						進捗評価	2024年度取組実績	2025年度取組状況(令和7年8月末時点)	
			指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028				
基本理念1 創造的な復興(より良い復興)と防災・減災による安全・安心なまちづくり	1 復興の確実な推進と誰もが安心して暮らすまちづくり	<p>① 多重防災型の災害に強い安全なまちづくりを推進する</p> <p>② 快適で魅力ある都市空間、都市機能を創出するまちづくりを推進する</p> <p>③ 公共施設の再建や市民サービスの回復など、安定した市民の暮らしの再興を推進する</p> <p>④ 産業基盤の早期復興と新規企業立地を推進する</p> <p>⑤ 地球環境にやさしいエネルギーを活用したまちづくりを推進する</p> <p>⑥ 地域の特性やコミュニティ活動を生かした協働によるまちづくりを推進する</p>												・津波ハザードマップを作成した。	・ハザードマップの内容や見方等について周知を行う住民説明会を10月に開催予定。	
															・市民との協働により川原川に日蘭友好広場を開設した。 ・河川空間とまち空間を一体的に活用・整備し、地域の活性化や魅力向上を図る「かわまちづくり計画」の策定を目指して協議会を開催した。	・4月に「陸前高田かわまちづくり計画」を策定し、8月には国土交通省の支援制度に登録された。 ・今年度内に、計画に掲げた施策を推進するため、「(仮称)陸前高田かわまちづくり計画推進協議会」を組織し、関係団体等との連携強化に努める。
															・ふるさとタクシー助成事業について、2022年度から75歳以上の高齢者の対象地域を市内全域に拡大した。 ・利用金額は少しづつ増えており、新たに対象になった地域の人達にも利用されている。	・ふるさとタクシー助成事業について、2025年度からタクシー券の発送時期を従来より早めたことで、4月上旬から利用できるようになり、前年度同時期より利用金額は増加傾向である。
															・製造業を中心に、中小企業設備投資促進事業費補助金の活用による設備の近代化や合理化を促進した。 ・新規企業立地の推進に向け、大都市圏に立地する企業へのアンケート調査を実施した。	2024年度に引き続き、製造業を中心として、中小企業設備投資促進事業費補助金の活用による設備の近代化や合理化を促進している。 また、新規企業立地の推進に向け、大都市圏に立地する企業へのアンケート調査を実施している。
															・環境省脱炭素先行地域(第5回)へ計画提案を行い、選定された。 ・陸前高田市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定した。 ・新エネルギー設備導入促進事業を通じて、住宅向け設備の導入促進を行った。	・脱炭素先行地域計画に係る事業の実施に向けて、事業者と検討を進めた。 ・住宅用太陽光・木質バイオマスストーブについて補助の拡充を実施した。
															・協働のまちづくり事例集を陸前高田市NPO法人協議会事務局を通じて、市内NPO団体等と共有した。	・5月下旬に市内NPO団体とともに各地区コミュニティ協議会の課題について聞き取り訪問を行った。

【進捗評価 凡例】

- A:順調に推移
- B:概ね順調に推移
- C:やや進捗に遅れ
- D:進捗に遅れ
- E:進捗に大幅な遅れ

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況

基本理念1 創造的な復興(より良い復興)と防災・減災による安全・安心なまちづくり

基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値					進捗評価	2024年度取組実績	2025年度取組状況(令和7年8月末時点)
		指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)	単位	2023	2024	2025	2026	2027			
2 快適に気持ちよく暮らすまちづくり	1 生活道路・交通環境を整備する	市道改良率(累計)	50.7	61.0	%	51.4	51.9				C:進捗にやや遅れ	・36件の改良工事を実施	・改良工事発注済 11件
		橋梁長寿命化対策が図られた橋梁数(累計)	26	63	橋	29.0	29				D:進捗に遅れ	・3橋の詳細設計を実施 ・橋梁点検及び長寿命化修繕計画見直し業務を実施	・橋梁補修工事発注済 2件 ・橋梁点検及び1橋の積算資料作成業務を発注済
		市内を運行する公共交通の利用者数	15,456	16,300	人	16,897	16,626				A:順調に推移	・生出線 5,387人 ・広田線 4,092人 ・広田半島線 2,041人 ・長部今泉線 621人 ・たかたコミュニティバス東部線 1,724人 ・たかたコミュニティバス西部線 1,734人 ・デマンド交通中平・坂下・小黒山エリア 29人 ・デマンド交通気仙エリア 359人 ・デマンド交通小友・広田エリア 639人 ※BRTは計算方法が異なるため現状値・目標値に算入していない。 ※ふるさとタクシー助成券利用実績 利用人数 5,072人(36,116枚、10,805,800円)	・生出線 2,464人 ・広田線 2,348人 ・広田半島線 831人 ・長部今泉線 467人 ・たかたコミュニティバス東部線 728人 ・たかたコミュニティバス西部線 983人 ・デマンド交通中平・坂下・小黒山エリア 8人 ・デマンド交通気仙エリア 155人 ・デマンド交通小友・広田エリア 267人 ※BRTは計算方法が異なるため現状値・目標値に算入していない。 ※ふるさとタクシー助成券利用実績 利用人数 2,531人(17,821枚、8,910,500円)
		水道及び下水道事業会計への基準外繰出金額	517,437	414,000	千円	498,600	507,853				C:進捗にやや遅れ	2023年度より、基準外繰出金額の見直しを継続している。 ○2024年度実績 ・水道事業会計:87,650千円 ・下水道事業会計420,203千円 合計:507,853千円	○2025年度予算 ・水道事業会計:52,688千円 ・下水道事業会計:393,645千円 合計:446,333千円
		配水管の更新延長(累計)	10	22	km	11.5	14.5				B:概ね順調に推移	・竹駒町における大規模配水管更新工事が完了し、引き続き、竹駒町及び小友町並びに広田町等の配水管更新工事を進めている。	・2025年度予定工事件数6件、更新延長:1,440m ・2025年度末総更新延長:15.94km
	3 住環境整備を促進する	浄化槽設置基数	212	570	基	233	249				C:進捗にやや遅れ	・令和6年度16基 ・浄化槽区域内の水洗化率は令和6年度56.75%	・令和7年8月末申請件数12基
		住まいのリフォーム支援事業助成件数(累計)	589	860	件	657	722				A:順調に推移	・助成決定件数 65件	・助成決定件数 30件
		岩手県に建築確認申請があつたもののうち景観形成基準に適合している建築物等の割合	100	100	%	100	100				A:順調に推移	・建築物の新築に係る申請受付件数8件(全件適合)	・建築物の新築に係る申請受付件数4件(全件適合)
		市民芸術祭参加者数	1,390	1,750	人	1,594	1,455				C:進捗にやや遅れ	○10月8日～12月8日まで開催 ・展示部門 720名 ・舞台部門 581名 ・会席部門 154名	・10月7日から11月30日を開催期間として実施予定
		教育普及事業(博物館出前講座、教室、中沢浜貝塚関連事業)参加者数	409	600	人	1,406	2,817				A:順調に推移	・旧吉田家住宅主屋復旧見学会 293人 ・「飯森の化石産地」市文化財指定記念講演会 80人 ・第32回女性のつどい講演会 40人 ・ふれあいまつり砂金採り体験 80人 ・市民講座「地域の文化財を知ろう」21人 ・三陸花火大会砂金採り体験 250人 ・市産業まつり砂金採り体験 480人 ・海辺の生きもの観察会 21人 ・化石のレプリカをつくろう！ 71人 ・古文書講座 71人 ・子ども向けワークショップ 154人 ・ソチクジラ剥製解説会 50人 ・リードオルガン演奏会 50人 ・野鳥観察会 30人 ・恐竜とわたしたち人類、進化のおはなし会 120人 ・出前博物館 346人 ・博物館教室 447人 ・日本遺産「みちのくGOLD浪漫」文化講演会 59人 ・文化財防火デー 42人 ・文化財報告会「大肝入吉田家と今泉」 112人	・みんなの笑顔プロジェクト 24人 ・ふきのとう大学 37人 ・ふれあいまつり砂金採り体験 45人 ・吉田家日本遺産追加認定記念企画展示(令和7年8月5日～令和8年3月31日) 7,364人 ・海辺の生きもの観察会 19人 ・つっちいトーケ 10人 ・ぼうさいトーケ 13人 ・みんなの“のきした”水族館 406人 ・出前博物館 159人
2 快適に気持ちよく暮らすまちづくり	4 地域の伝統や文化を大切にする	各種講座等参加者数	2,450	3,200	人	3,497	3,517				A:順調に推移	○開催状況 ・生涯学習出前講座 53回開催 1,286人 ・自主企画講座 11講座 延べ590人 ・文化芸術講座 延べ284人 ・公民館講座 10地区公民館 延べ1,168人 ・人材育成講座「初心者向けスマホ教室」全15回 144人 ・盛岡大学・同短期大学部公開講座 45人	○開催状況 ・生涯学習出前講座 23回485人 ・自主企画講座 2講座延べ103人 ・文化芸術講座 4講座延べ135人 ・公民館講座 6地区の公民館にて実施中

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況

基本理念1 創造的な復興(より良い復興)と防災・減災による安全・安心なまちづくり

基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値						進捗評価	2024年度取組実績	2025年度取組状況(令和7年8月末時点)
		指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028			
2 快適に気持ちよく暮らすまちづくり	5 生涯学習を推進する	各種講座等参加者の評価	87.0	90.0	%	96.8	89.6					B:概ね順調に推移	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習出前講座 ※アンケート集計実施なし ・自主企画講座 アンケート回答者 9人 ・文化芸術講座 アンケート回答者 100人 ・公民館講座 アンケート回答者 51人 ・人材育成講座 「初心者向けスマホ教室」 アンケート回答者 108人 ・盛岡大学・同短期大学部公開講座 アンケート回答者 37人 	<ul style="list-style-type: none"> 左記事業(出前講座を除く)について、2024年度と同様にアンケートにより参加者の評価を確認する予定。
		博物館観覧者数	30,020	57,000	人	59,308	55,953					A:順調に推移	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館協議会 2回 ・特別展及び企画展 3回 ・海辺の生きもの観察会 1回 ・子ども向けワークショップ 1回 ・出前博物館 14回 ・博物館教室 24回 	
		図書館利用者数	80,402	80,500	人	97,492	102,942					A:順調に推移	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展示 36回 ・定例おはなし会 26回 ・図書館イベント 10回 ・移動図書館定期運行 	
		市民文化会館利用者数	20,335	40,000	人	48,643	51,383					A:順調に推移	<ul style="list-style-type: none"> ○主な自主企画イベント <ul style="list-style-type: none"> ・尾崎亜美コンサート(9月29日) ・映画鑑賞(12月22日) ○その他イベント <ul style="list-style-type: none"> ・NHKのど自慢(5月5日) ・名古屋フィルハーモニー交響楽団コンサート(7月22日) 	

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況

基本理念1 創造的な復興(より良い復興)と防災・減災による安全・安心なまちづくり

基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値					進捗評価	2024年度取組実績	2025年度取組状況(令和7年8月末時点)
		指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)	単位	2023	2024	2025	2026	2027			
6 防災意識を高め、防災・減災体制を整える	6 防災意識を高め、防災・減災体制を整える	防災メール登録者数	3,427	4,000	人	3,565	3,646				B:概ね順調に推移	・広報、チラシ、出前講座、消防・防災フェスタ2024等で周知している。	・広報、チラシ、出前講座等で周知を行っている。 また、今後開催を予定している消防・防災フェスタ等で周知を行う。
		自主防災組織率	63.7	90.0	%	63.1	77				A:順調に推移	・未結成地区に対して、結成に向けた相談を実施し、組織化への支援を行っている。 また、自主防災組織リーダー研修会の開催や既設の補助制度の活用説明会、自主防災組織が行う防災講座、訓練への支援を行うことで、組織の機能強化を図っている。	・自主防災組織が結成されていない地域について、新たな自主防災組織の結成に向けた情報提供や必要な助言を行っている。 また、自主防災組織と連携した土砂災害・洪水避難訓練を実施し、自主防災組織リーダー研修会等において、好事例として紹介するなど、自主防災組織の機運醸成を図っている。 加えて、自主防災組織の活動を支援する補助制度について、説明会等を実施し、活用を促進することで、自主防災組織の機能強化に取り組んでいる。
		防災マイスター資格取得者数(累計)	100	220	人	115	136				B:概ね順調に推移	・防災マイスター養成講座(受講者34名、5月から12月まで全8回、12月15日閉講式)を開講した。 また、防災マイスター有志による活動組織(防災マイスターの集い)により、消防・防災フェスタ2024、出前講座等において、市民への普及啓発を行った。 今後、当該組織の活動を支援することで、地域の防災リーダーの資質向上及び地域防災力の向上を図った。	・防災マイスター養成講座を開講中であり、2025年は27名が受講しており、5月から12月まで全8回の講義を経て、12月21日に閉講式を予定している。 また、防災マイスター有志による活動組織(防災マイスターの集い)により、土砂災害・洪水避難訓練や出前講座等において、市民への普及啓発を行っている。 引き続き、当該組織の活動を継続的に支援していくことで、地域の防災リーダーの資質向上及び地域防災力の向上を図っていく。
		津波避難訓練参加者数	2,611	3,000	人	2,660	2,775				A:順調に推移	・11月10日に、津波避難等訓練を実施した。 また、今年度は下矢作地区において、地域と連携し、避難所運営訓練を実施した。	・11月9日に津波避難等訓練を実施予定としている。 また、今年度は米崎地区において、地域と連携した、避難所運営訓練も予定している。
3 安心・安心で環境にやさしいまちづくり	7 消防・救急体制の充実を図る	消防団員数	578	580	人	523	520				D:進捗に遅れ	・消防団活動について、市公式ウェブサイトに掲載し市内外に広く周知した。 また、消防施設へのポスター掲示や市広報に消防団員募集の記事を掲載し加入促進を図るとともに、各事業所へ出向き消防団長より直接団員加入の依頼を行った。	・消防団活動について、市公式ウェブサイトに掲載し市内外に広く周知する。 ・消防施設へのポスター掲示や市広報に消防団員募集の記事を掲載し加入促進を図るとともに、現役消防団員による勧誘活動を行っている。
		救急講習受講者数	330	840	人	670	651				A:順調に推移	・救急講習等 38回 651人 ※プールや海水浴場の開設に伴う講習や、保育施設や高齢者施設、事業所での講習を実施した。今後は、自治会や各種団体の受講促進を図り、救命処置の普及に努める。	・救急講習等 32回 394人 ※プールや海水浴場の開設に伴う講習や、保育施設や高齢者施設、事業所での講習を実施したほか、自治会や各種団体の受講促進を図り、救命処置の普及を行っている。
		防火講習等受講者数	62	3,400	人	2,213	2,518				A:順調に推移	・防火講習等 35回 2,518人 ※保育施設、小中高等学校、自治会、事業所等を対象に防火講習、消火訓練及び避難訓練を実施した。	・防火講習等 25回 1,439人 ※保育施設、小中高等学校、自治会、事業所等を対象に防火講習、消火訓練及び避難訓練を実施している。
8 交通安全を推進する	8 交通安全を推進する	交通事故発生件数	296	270	件	297	277				A:順調に推移	○全国交通安全運動の推進 ・春の全国交通安全運動(4月6日～4月15日) ・夏の交通事故防止県民運動(7月15日～7月24日) ・秋の全国交通安全運動(9月21日～9月30日) ・冬の交通事故防止県民運動(12月15日～12月24日) ○市内交通安全施設の点検整備 ・7月4日、7月5日 市内小中学校通学路等 点検53箇所 ○正しい交通ルールを守る運動県民大会への参加 ・11月20日 盛岡市都南文化会館	○全国交通安全運動の推進 ・春の全国交通安全運動(4月6日～4月15日) ・夏の交通事故防止県民運動(7月15日～7月24日) ・秋の全国交通安全運動(9月21日～9月30日を予定) ○市内交通安全施設の点検整備 ・7月3日、7月4日 市内小中学校通学路等 点検66箇所 ○正しい交通ルールを守る運動県民大会への参加予定 ・11月13日 盛岡市都南文化会館
		交通安全啓発活動の回数	1	2	回	2	1				B:概ね順調に推移	○交通安全協会高田・米崎・小友・広田分会4地区合同啓発活動 ・12月6日 国道45号広田半島入口交差点付近	○交通安全協会高田・米崎・小友・広田分会4地区合同啓発活動 ・12月上旬実施予定
9 防犯体制の強化と安心なまちづくりを推進する	刑法犯発生件数	18	14	件	36	17				B:概ね順調に推移	○地域安全運動の実施 ・春の地域安全運動(4月6日～4月15日) ・秋の地域安全運動(10月11日～10月20日) ・年末年始地域安全運動(12月15日～1月3日) ※それぞれの期間中に地域安全パレードを実施 ○市内各地区防犯協会による地区見守り活動 ○防犯連絡所118箇所を指定 ○子ども110番の家を232箇所(うち新規5箇所)設置並びにステッカーの配布 ○啓発用具の購入 ○研修会等への参加 ・防犯パトロール実施者講習会(10月2日)	○地域安全運動の推進 ・春の地域安全運動(4月6日～4月15日) ※期間中の4月7日に地域安全パレードを実施 ○市内各地区防犯協会による地区見守り活動 ○防犯連絡所109箇所を指定 ○子ども110番の家を223箇所(うち新規6箇所)設置並びにステッカーの配布 ○啓発用具の購入 ○研修会等への参加予定 ・防犯パトロール実施者講習会(10月1日を予定)	

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況

基本理念1 創造的な復興(より良い復興)と防災・減災による安全・安心なまちづくり

基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値					進捗評価	2024年度取組実績	2025年度取組状況(令和7年8月末時点)
		指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)	単位	2023	2024	2025	2026	2027			
3 安全・安心で環境にやさしいまちづくり	10 自然環境の保全に努める	川の環境基準(BOD75%値環境基準)	0.7	0.7	mg/l	0.6	1				D:進捗に遅れ	・矢作川、気仙川0.9 ・浜田川1.2 ・川原川1.0	・気仙川水系(気仙川、矢作川、浜田川及び川原川)の水質調査を8月に実施し、現在結果を分析中。
		海の環境基準(COD75%値環境基準)	1.1	1.1	mg/l	1.2	分析中				E:進捗に大幅な遅れ	・広田湾東側、中央及び西側について岩手県による公共用水域水質調査実施済。(県にて2026年3月公表予定)	・広田湾東側、中央及び西側について岩手県による公共用水域水質調査実施済。(県にて2027年3月公表予定)
		環境教育・出前講座の開催回数	2	2	回	2	2				B:概ね順調に推移	・環境教育(7月3日 矢作小) ・出前講座(11月10日 二日市公民館)	・水生生物調査(7月8日 矢作小学校) ・環境教育(6月18日 米崎小清掃センター見学) ・出前講座(4月20日 女性協)
	11 ごみの減量と資源の活用を図る	市民1人1日当たりのごみ排出量	627	620	g	622	618				B:概ね順調に推移	・資源集団回収登録団体 13団体 ・コンポスト設置補助数 3基 ・電動生ごみ処理機設置補助数 4基 ・木製コンポスト設置補助数 0基 ・EMぽかし補助数 0基	・資源集団回収登録団体 13団体 ・コンポスト設置補助数 2基 ・電動生ごみ処理機設置補助数 7基 ・木製コンポスト設置補助数 0基 ・EMぽかし補助数 0基(年度末確定)
		新エネルギー利用促進助成件数	15	20	回	25	15				C:進捗にやや遅れ	・太陽光システム導入補助 13件 ・木質バイオマス(薪ストーブ等)導入補助 2件	○2025年度から補助要綱を太陽光・木質バイオマスそれぞれ新たに制定 ・太陽光システム導入補助 19件(当年度7件、遡及適用12件) ・木質バイオマス(薪ストーブ等)導入補助 17件(当年度5件、遡及適用12件)

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況

基本理念2 ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくり(世界に誇れる美しい共生社会のまちづくり)

基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値					進捗評価	2024年度取組実績	2025年度取組状況(令和7年8月末時点)
		指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)	単位	2023	2024	2025	2026	2027			
4 子どもたちを健やかに育むまちづくり	12 安心して子どもを産み育てられる環境を整える	出生数	64	80	人	62	49				D:進捗に遅れ	・母子手帳交付時の面談 70件 ・産後ケア事業 12回実施 ・両親教室 6回実施 ・祖父母教室 1回実施 ・離乳食教室 6回実施 ・思春期教育 11回実施 ・出産子育て応援給付金 125件 ・必要に応じ多機関連携による妊産婦及び乳幼児への支援を行った。	・母子手帳交付時の面談 13件 ・産後ケア事業 12回実施 ・両親教室 3回実施 ・祖父母教室 10月実施予定 ・離乳食教室 2回実施 ・思春期教育 6回実施 ・出産子育て応援給付金 1件、妊婦のための支援給付金 42件 ・必要に応じ多機関連携による妊産婦及び乳幼児への支援を行っている。
		児童公園等の整備(累計)	6	7	箇所	6	6				B:概ね順調に推移	・児童公園整備検討会を設置して会議を2回開催し、整備等に関する検討を行った。	・児童公園整備検討会での協議を踏まえ遊具整備の方向性を決定し、今年度中に広田地区へ遊具を設置予定。
		高等職業訓練促進給付費等事業(ひとり親家庭対象)の受給者数	0	2	人	0	0				C:進捗にやや遅れ	・訓練給付金制度についてHPや窓口で周知を図った。 ・2024年度においては受給申請0件。	・ひとり親の所得向上と自立促進のため給付金制度の周知を図っている。 ・8月末時点での受給申請は0件。
		子育て支援員研修修了者数(累計)	70	130	人	81	88				B:概ね順調に推移	・子育て支援員研修を実施し、地域型保育コースを7名が修了した。	・2024年度に引き続き、子育て支援員研修を実施し、新たに7名が地域型保育コースを修了した。
	13 一人ひとりを大切にした学校教育を推進する	「こころとからだの健康観察」における要サポート児童生徒の割合	小16.8 中14.2	小13.0 中13.0	%	小19.2 中14.8	小19.8 中15.3				C:進捗にやや遅れ	・「こころとからだの健康観察」を実施し、その観察結果をもとに各学校においてスクールカウンセラーや養護教諭、担任を中心に教育相談やカウンセリング等を活用し、フォローに努めた。 ・保護者や医療機関等とも連携して、組織的なサポートを実施した。	・8月から9月にかけて「こころとからだの健康観察」を実施した。 今後は、観察結果をもとに、教育相談やカウンセリング等を行い、組織的にサポートしていく。 また、要サポート児童・生徒への支援を継続的に行っていく。
		学校不適応による長期欠席児童生徒(病気等を除く)の割合	小0.32 中2.14	小0.0 中2.0	%	小1.59 中3.63	小1.3 中5.3				D:進捗に遅れ	・児童生徒連絡会議を7回開催し、関係機関との情報共有及び学校不適応児童生徒への支援方針を確認した。 ・ジャンプスクール等とも連携を図り、学校不適応児童生徒への支援を図った。 また、必要に応じてケース会議も実施した。	・児童生徒連絡会議を3回開催し、関係機関との情報共有及び学校不適応児童生徒への支援方針を確認した。 今後も、児童生徒連絡会議等を開催し、ジャンプスクール等と連携を図り、学校不適応児童生徒への支援を図っていく。 また、必要に応じてケース会議も実施している。
		いじめ解消率	92.3	100.0	%	94.4	98.4				A:順調に推移	・「いじめ防止等対策協議会」を開催し、本市における状況や対策等の協議を行った。 また、12月のいじめ防止啓発月間において、ポスターを作成し関係機関の取組み等を周知するとともに、2月に「いじめ防止等対策協議会」を開催し、いじめ解消に努めた。	・1回目の「いじめ防止等対策協議会」を開催し、本市における状況や対策等の協議を行った。 また、12月のいじめ防止啓発月間において、ポスターを作成し関係機関の取組み等を周知するとともに、2月に2回目の「いじめ防止等対策協議会」を開催し、いじめ解消に努めていく。
14 知・徳・体を真に備えたたくましい人づくりを推進する	県学習定着度状況調査において「授業の内容がわかる」と答えた児童生徒の割合	県学習定着度状況調査において「授業の内容がわかる」と答えた児童生徒の割合	小86.6 中82.0	小89.0 中85.0	%	小95.6 中84.0	小84.2 中80.6				D:進捗に遅れ	・指導主事による学校訪問や授業交流会、学力調査分析を踏まえた中学校授業づくり研修等を実施し、市内小・中学校における授業改善と学力向上の取組の推進を図った。 また、ICT活用推進研修会と学力向上研修会を実施し、各校の学力向上の組織的取組の一層の充実を図った。	・指導と評価の一体化と家庭学習を重視し、指導主事による学校訪問や授業交流会、各校の校内研修を通して、市内小・中学校における授業改善を図っている。 また、各種調査に関する市内の分析をいち早く校長会議で示し、各校で対策を講じていただいている。
		県学習定着度状況調査において「勉強が好き」と肯定した児童生徒の割合	小71.8 中72.2	小75.0 中75.0	%	小80.4 中71.2	小71.6 中78.6				C:進捗にやや遅れ	同上	同上
	「自分の住む地域に愛着がある」と思っている児童生徒の割合	「自分の住む地域に愛着がある」と思っている児童生徒の割合	小55.0 中56.0	小58.0 中58.0	%	小58.3 中56.0	小66.1 中54.2				A:順調に推移	・「学級経営に生かすカウンセリングの手法について」を講義テーマとして、スクールカウンセラーや「学級づくり研修会」を実施した。 また、「児童生徒一人ひとりの権利が尊重される学級・授業づくりについて、校内研修を継続的に実施した。 ・児童生徒の現状や課題について、各校との共通理解を図り、人権教育や道徳教育の推進を呼びかけた。 ・地域の行事に参加したり、地域の方々との交流を推進することで、郷土愛についても育んでいる。 加えて、8月の名古屋市陸前高田市絆交流においては、地域のよさを感じ取れるプログラムを実施した。	・児童生徒の現状や課題について、各校との共通理解を図り、人権教育や道徳教育の推進を呼びかけている。 また、総合的な学習の時間において地域に関する学習をしたり、地域の行事に参加したりするなど、地域の方々との交流を推進することで、郷土愛についても育んでいる。 加えて、8月の名古屋市陸前高田市絆交流においては、地域のよさを感じ取れるプログラムを実施した。

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況

基本理念2 ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくり(世界に誇れる美しい共生社会のまちづくり)

基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値					進捗評価	2024年度取組実績	2025年度取組状況(令和7年8月末時点)
		指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)	単位	2023	2024	2025	2026	2027			
4 子どもたちを健やかに育むまちづくり	14 知・徳・体を真に備えたたくましい人づくりを推進する	思いやりの心をもって人と接している児童生徒の割合	小79.0 中88.5	小82.0 中90.0	%	小87.0 中79.0	小82.5 中76.0				A:順調に推移 E:進捗に大幅な遅れ	同上	同上
		体力・運動能力調査の総合評価全5段階のうちA・B・C段階の児童生徒の割合	小79.8 中80.5	小80.0 中82.0	%	小76.2 中74.7	小77.4 中76.3				E:進捗に大幅な遅れ E:進捗に大幅な遅れ	・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、運動会やマラソン大会等は通常開催された。 また、県教育委員会の取組である60プラス運動を推進し、家庭の協力を得ながら、望ましい運動習慣の形成、生活習慣や食習慣の改善を図っている。	・県教育委員会の取組である60プラス運動を2024年度同様に推進し、家庭の協力を得ながら、望ましい運動習慣の形成、生活習慣や食習慣の改善を図っている。 また、体育担当を中心に、各学校の特色を生かした運動行事や取組を推進している。
		全国学力・学習状況調査において「ほぼ毎日授業でICT機器を使用した」と回答した児童生徒の割合	小26.7 中5.4	小30.0 中30.0	%	小9.5 中4.7	小28.4 中4.4				A:順調に推移 D:進捗に遅れ	・一人一台端末の利活用の促進を図るため、5月に先進校の視察を実施し、活用法について学んだ。 ・12月には各校の実践事例や文科省の研修動画等を元にした研修を実施し、活用の推進を図った。	・2024年度同様に、ICT支援員や指導主事が学校を訪問しながら、一人一台端末の利活用の促進を図っている。 また、校内研等でICT機器を使った学びについても助言している。 ・12月にはICT推進実践交流会を実施する予定としている。
	15 家庭や地域の教育力を高める	各種学級等参加者数	750	1,100	人	952	1,413				A:順調に推移	・保育所(園)等家庭教育学級 19回 551人 ・小・中学校家庭教育学級 17回 750人 ・家庭教育講座 4回 81人 ・乳幼児学級 3回 31人	・保育所(園)等家庭教育学級 5回237人 ・小・中学校家庭教育学級 10回407人 ・家庭教育講座 3回48人
		各種学級等参加者の評価	99.2	99.2	%	98.4	89				C:進捗にやや遅れ	・保育所(園)等家庭教育学級 アンケート回答者 203人 ・小・中学校家庭教育学級 アンケート回答者 207人 ・家庭教育講座 アンケート回答者 48人 ・乳幼児学級 アンケート回答者 15人	・左記事業について、2024年度と同様にアンケートにより参加者の評価を確認する予定。
	16 安全・安心な学校教育環境を整える	地域学校協働活動ボランティア参加者数(年間延数)	10,000	10,000	人	10,028	10,404				B:概ね順調に推移	・ボランティアを統括するコーディネーター同士の意見交換の場である「統括・地域コーディネーター会議」を4回開催し、情報共有を促進した。	・ボランティアを統括するコーディネーター同士の意見交換の場である「統括・地域コーディネーター会議」を2回開催し、情報共有を促進している。
		通学路安全点検危険箇所改善率	63.2	65.0	%	60.3	74				B:概ね順調に推移	・通学路合同安全点検を実施し、挙げられた50箇所の危険箇所中、13箇所が対策済み、24箇所が対策途中となっている。	・通学路合同安全点検を実施し、53箇所の危険箇所が確認された。 危険箇所については、関係機関と連携し、児童生徒の通学の安全が確保されるようハード面・ソフト面の対策を進めていく。
		学校教育計画の中に防災教育を位置づけ、実践に取り組んでいる小中学校の割合	100.0	100.0	%	100	100				A:順調に推移	・市内全ての学校において、学校教育計画に沿って避難訓練等を適切に実施した。 また、学校教育計画の中に防災教育を位置づけ、地域の実情に合わせた防災教育を実施した。	・市内全ての学校において、学校教育計画の計画に沿って避難訓練等を適切に実施した。 今後も、地域の実情に合わせた防災教育を推進するよう働きかけを継続する。

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況

基本理念2 ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくり(世界に誇れる美しい共生社会のまちづくり)

基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値					進捗評価	2024年度取組実績	2025年度取組状況(令和7年8月末時点)
		指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)	単位	2023	2024	2025	2026	2027			
5 ともに支え、健 康に暮らすまち づくり	17 共生のまちづくりを推進する	再建した店舗のうちユニバーサルデザイン認証を受けた店舗の割合	21.8	50.0	%	21.0	19.7				D:進捗に遅れ	・認証件数1件。 ・引き続き事業者等に対してユニバーサルデザイン推進補助金の周知を行い、認証店舗の増加を図る。	・認証件数0件。 ・引き続き事業者等に対してユニバーサルデザイン推進補助金の周知を行い、認証店舗の増加を図る。
		就労困難者就労者数(累計)	28	50	人	37	50				A:順調に推移	・ユニバーサル就労支援センターや関係機関と連携しながら、就労困難者等への支援を行っている。	・2024年度に引き続き、ユニバーサル就労支援センターをはじめとした関係機関と連携しながら、就労困難者等への支援を行っている。
	18 市民の健康づくりを推進する	介護予防教室の参加者数	1,033	2,000	人	1,201	1,269				B:概ね順調に推移	○介護予防教室 ・実施箇所数 30箇所 ・実施回数 108回	○介護予防教室 ・実施箇所数 17箇所 ・実施回数 31回
		スポーツ教室等参加者数	1,407	1,700	人	1,270	1,200				C:進捗にやや遅れ	・水泳教室(幼児・ジュニア・一般) 704人 ・ヨガ教室 102人 ・バランスポール教室 67人 ・陸上 95人 ・筋トレ 49人 ・ダンス 163人 ・SUP 17人 ・DJ 3人	・水泳教室(幼児・ジュニア・一般) 462人 ・ヨガ教室 72人 ・バランスポール教室 32人 ・筋トレ 32人 ・ダンス 82人 ・SUP 15人 ・キッズバラエティ 15人
	19 安心できる医療・介護・福祉体制を整える	夢アリーナたかた(総合交流センター、B&G海洋センター)、スポーツドーム、高田松原運動公園利用者数	158,557	175,000	人	156,256	149,241				C:進捗にやや遅れ	・総合交流センター 48,778人 ・スポーツドーム 11,285人 ・B&G海洋センター 24,944人 ・高田松原運動公園 64,234人	・総合交流センター 22,263人 ・スポーツドーム 4,809人 ・B&G海洋センター 11,384人 ・高田松原運動公園 17,305人
		はまかだスポット数(累計)	244	300	箇所	281	304				A:順調に推移	・新規スポット登録及び現況調査によるスポット数の更新を行った。 (新規23件) ・はまかだ運動推進会議 10回実施	・新規スポット登録及び現況調査によるスポット数の更新を実施している。(新規5件) ・はまかだ運動推進会議 4回実施

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況

基本理念2 ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくり(世界に誇れる美しい共生社会のまちづくり)

基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値					進捗評価	2024年度取組実績	2025年度取組状況(令和7年8月末時点)
		指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)	単位	2023	2024	2025	2026	2027			
6 市民と築く交流と連携の住みよいまちづくり	20 仕事と生活の調和を図り、男女共同参画を推進する	各種審議会等における女性委員の登用率	20.9	30.0	%	22.7	26.2				A:順調に推移	・審議会等の女性登用率26.2% ・各審議会において、女性の委員登用が進んでいる状況にある。	・審議会等における女性の登用率27% ・2024年度に引き続き、各審議会において、女性の委員登用を進めている。
		仕事と家庭の両立支援行動計画策定登録数(累計)	6	24	件	11	11				B:概ね順調に推移	・商工会と連携して市内事業者向けに、両立支援行動計画(次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画)の策定について、市公式ウェブサイトなどで周知を図り、計画策定を促進した。	・2024年度に引き続き、商工会と連携して市内事業者向けに、両立支援行動計画(次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画)の策定について、市公式ウェブサイトなどで周知を図り、計画策定を促進している。
	21 協働によるまちづくりを推進する	まちづくり団体活動補助金による支援件数(累計)	-	30	件	6	12				A:順調に推移	○まちづくり団体補助金 ・6団体(法人4件 任意2件 交付額計 1,219千円)	○まちづくり団体補助金 ・7団体(法人5件 任意2件 交付決定額 1,996千円)
		協働によるまちづくりに関する研修会等の開催数(累計)	3	15	回	3	4				D:進捗に遅れ	・市内中間支援組織であるまちづくり協働センターや外部講師の協力のもと、協働に関する職員研修会を実施した。	・県との連携により、各地区コミュニティ推進協議会役員等を対象とした協働についての研修会を令和8年1月～2月頃実施予定している。
	22 住民活動を支援する	地域交付金事業数(累計)	417	1,200	事業	560	697				B:概ね順調に推移	○地域交付金事業数 ・137件 53,592,935円(97.44%)	○地域交付金事業数 ・申請件数55件 交付決定額29,797,457円(54.17%)
		自治会館等の整備支援件数(累計)	61	90	件	66	72				B:概ね順調に推移	○自治会館整備事業 ・新築3件 改修等3件 交付額計 19,887千円	○自治会館整備事業 ・改修等7件 交付決定額 4,726千円
	23 地域間の交流を促進する	友好都市等交流事業開催数(累計)	25	55	回	34	43				A:順調に推移	○シンガポール(ホストタウン) ・高田高校生とシンガポール学生との共生社会アート交流 ○クレセントシティ市(姉妹都市) ・実習船カモメ漂着10周年記念現地イベントへの参加 ・デルノーテ高校から短期留学生を迎える高田高校、市内小中学校及びホストファミリーとの交流 ・高田高校生10名のデルノーテ高校短期派遣 ○名古屋市 ・いこまいいたた、あばせなごやをチャオチャオ陸前高田にて披露 ・3月23日絆の日に関する記念交流 ・教育委員会絆協定に基づく中学生相互訪問交流 ○武雄市 ・物産まつりへの相互出展 ・武雄市への旅行支援補助金(26件 780千円)	○クレセントシティ市(姉妹都市) ・クレセントシティ訪問団26名の歓迎イベント及び市民交流事業 ・デルノーテ高校から短期留学生を迎える高田高校及びホストファミリーとの交流 ・高田高校生5名のデルノーテ高校短期派遣 ○シンガポール(ホストタウン) ・高田高校生5名のスタディプログラム派遣 ○名古屋市 ・絆交流ステージ・物販イベント(2月22日開催予定) ・絆の日にに関する記念交流(3月23日開催予定) ・教育委員会絆協定に基づく中学生相互訪問交流 ・物産まつりへの相互出展 ○武雄市 ・物産まつりへの相互出展 ・武雄市への旅行支援補助金(3件 90千円)
		移住者 ・Uターン ・Iターン	246 ・87 ・159	300	人	278 ・102 ・176	222 ・90 ・132				C:進捗にやや遅れ	○移住定住総合支援業務 ・移住相談件数 218件 ・空き家バンク成約件数 12件 ・移住定住イベント開催回数 9回	○移住定住総合支援業務 ・移住相談件数 128件 ・空き家バンク成約件数 1件 ・移住定住イベント開催回数 8回
		移住者及び若者の住宅取得支援数	21	25	世帯	26	22				B:概ね順調に推移	○移住者・若者の定住に向けた住宅取得支援 ・移住定住促進事業 13件 ・若者定住促進事業 9件	○移住者・若者の定住に向けた住宅取得支援 ・移住定住促進事業 5件 ・若者定住促進事業 3件

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況
基本理念3 次世代につなげる持続可能なまちづくり

基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値						進捗評価	2024年度取組実績	2025年度取組状況(令和7年8月末時点)
		指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028			
7 活気に満ちあふれ豊かに暮らすまちづくり	24 農業の振興を図る	新規就農者数(独立自営就農者数)(累計)	8	20	人	8	8					E:進捗に大幅な遅れ	・随時就農相談を実施した。	・2024年度に引き続き、随時就農相談を実施している。 ・経営開始資金(農業次世代人材投資資金)の交付、地域農業担い手支援事業費補助金の交付を実施している。
		たかたのゆめの生産高	261	300	t	248	217					D:進捗に遅れ	・作付農家数 24件(前年比-3) ・作付面積 50.3ha(前年比-3.1ha) ・収量実績 217.4t	・作付農家数 22件(前年比-2) ・作付面積 50.6ha(前年比+0.3ha) ・収量見込 245.4t
	25 林業の振興を図る	新規林業就業者数(累計)	5	8	人	5	5					E:進捗に大幅な遅れ	・林業担い手対策事業費補助金制度の周知を図るとともに、国、県、市町、森林組合等の関係機関で構成する気仙地方林業振興協議会において、管内の高校生を対象とした林業職場体験を開催するなどの取組を行った。	・林業担い手対策事業費補助金制度の周知を図るとともに、市内林業事業体との担い手対策に関する意見交換の場を設け、現場の課題などの把握を行う。
		自伐型林業により整備した森林面積(累計)	39.8	100.0	ha	39.8	40.3					E:進捗に大幅な遅れ	・間伐実績 1件 ・間伐面積 0.53ha	・森林づくり推進補助金の対象事業を拡充することで、自伐型林業者等への支援を図っている。
		再造林率	24.2	30.0	%	20.89	23.64					C:進捗にやや遅れ	・低密度植栽、コンテナ苗植栽等の低コスト林業を普及推進とともに、私有林での再造林を促進するため、森林づくり推進補助金の周知などを行った。	・2024年度に引き続き、低密度植栽、コンテナ苗植栽等の低コスト林業を普及推進するとともに、林業事業体と連携して森林づくり推進補助金を周知することで、私有林での再造林を促進している。
	26 水産業の振興を図る	新規漁業就業者数(累計)	20	26	人	21	22					B:概ね順調に推移	・いわて水産アカデミーの卒業生1名に対して、今後、漁協の正組合員となるための支援を行うとともに、昨年度までに正組合員となった新規漁業者に対して資機材支援等の支援を行った。 また、令和6年度在校生5名に対して、卒業後の独立に向けた支援を行った。	・いわて水産アカデミーの卒業生に対して、今後、漁協の正組合員となるための支援を行うとともに、昨年度までに正組合員となった新規漁業者に対して資機材支援等の支援を行っている。 また、令和7年度在校生1名に対して、卒業後の独立に向けた支援を行うことで新規漁業就業者数の増加を図っている。
		水産加工業新規就業者数(累計)	45	75	人	65	86					A:順調に推移	・水産業まつりにおいて水産加工業の周知活動を行うとともに、水産加工業者に対する岩手県との協調補助の枠組みができたことを受け、三者間の緊密な連携を図った。	・水産加工事業者等に対する人材確保支援事業について、岩手県との協調補助の枠組みができたことから、申請のあった事業者に対して支援を行うことで、新規就業者が増加するような職場環境の改善に努めている。
		サケ(気仙川)の水揚量	9,220	10,000	尾	3,581	4,973					E:進捗に大幅な遅れ	・海洋環境の変化等の影響により、県内全体で厳しい水揚げ状況が続いていることから、岩手県においても回帰率上昇のために放流時のサイズを増加するなどの対応を行っているほか、市でも資源量増加のために漁協が負担するサケ種卵購入経費に係る支援を行っており、2024年度の水揚量は前年度よりは微増した。	・海洋環境の変化等の影響により、県内全体で厳しい水揚げ状況が続いていることから、サケの資源量増加のため、広田湾漁業協同組合が放流を行う稚魚育成に必要となるサケ種卵購入に係る経費に対しての支援を行っている。
		広田湾産イシカゲ貝の水揚量	84,248	100,000	kg	58,658	16,099					E:進捗に大幅な遅れ	・海水温の上昇の影響等によるへい死や育成不良等により、2年続けて水揚げ量が減少していることから、将来の安定した水揚げに向けて、人工種苗の生産技術確立に向けた研究支援などを行った。	・海水温の上昇の影響等によるへい死や育成不良によって水揚量の減少が生じていることから、イシカゲ貝生産組合が実施している人工種苗の生産技術確立に係る研究への支援を行うことで、水揚量の増加を図っている。 また、漁業者の負担軽減のため、自主検査費用等に係る支援を行うとともに、岩手県に対して検査費用軽減のための新しい検査方法の導入を要望している。
		アワビの水揚量	4,972	5,000	kg	5,722	2,619					E:進捗に大幅な遅れ	・海水温の上昇の影響等による磯焼けや餌となる海藻の減少によるアワビの成育不良や水揚量の減少が見られることから、陸前高田市藻場再生活動組織や関係機関と連携し、国の補助事業を活用した磯焼け対策を実施しているほか、アワビ種苗生産及び放流に係る支援を実施し、資源量増加に努めた。	・海水温の上昇の影響等による磯焼けや餌となる海藻の減少によるアワビの成育不良や水揚量の減少が見られることから、アワビの資源量増加のため、放流用の種苗生産に係る経費の支援を行っているほか、餌となる海藻の増加を図るため、陸前高田市藻場再生活動組織や関係機関と連携し、国県の補助事業を活用した磯焼け対策支援等を実施している。
		カキの水揚量	81,266	90,000	kg	60,017	41,589					E:進捗に大幅な遅れ	・海水温の上昇の影響などによるへい死や育成不良等により、2年続けて水揚げ量が減少していることから、岩手県に対して原因の究明と抜本的対策を要望とともに、市でも貝毒等の自主検査費用の支援や漁業共済掛金支援を実施することで、将来の水揚げ量増加に繋がるよう漁業経営体への支援を行った。	・海水温の上昇等、海況の大きな変化に伴って水揚量が減少していることから、養殖漁業者がへい死リスク等を回避できるように、漁場における海水温や栄養塩等に係る環境調査を実施し、市のホームページで公表を行っている。 また、漁業者の負担軽減のため、自主検査費用等に係る支援を行うとともに、岩手県に対して検査費用軽減のための新しい検査方法の導入を要望している。

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況
基本理念3 次世代につなげる持続可能なまちづくり

基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値						進捗評価	2024年度取組実績	2025年度取組状況(令和7年8月末時点)
		指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028			
7 活気に満ちあふれ豊かに暮らすまちづくり	26 水産業の振興を図る	カキの水揚量	5,921,606	6,000,000	粒	4,024,141	3,856,795					E:進捗に大幅な遅れ	・海水温の上昇の影響などによるへい死や育成不漁等により、2年続けて水揚げ量が減少していることから、岩手県に対して原因の究明と抜本的対策を要望するとともに、市でも貝毒等の自主検査費用の支援や漁業共済掛金支援を実施することで、将来の水揚げ量増加に繋がるよう漁業経営体への支援を行った。	・海水温の上昇等、海況の大きな変化に伴って水揚量が減少していることから、養殖漁業者がへい死リスク等を回避できるように、漁場における海水温や栄養塩等に係る環境調査を実施し、市のホームページで公表を行っている。 また、漁業者の負担軽減のため、自主検査費用等に係る支援を行うとともに、岩手県に対して貝毒検査費用軽減のための新しい検査方法の導入を要望している。
		ホタテの水揚量	118,295	120,000	kg	115,384	58,655					E:進捗に大幅な遅れ	・貝毒の影響や海水温の上昇の影響によるへい死等により、年々水揚げ量が減少していることから、岩手県に対して原因の究明と抜本的対策を要望するとともに、市でも有害プランクトンの生物学的防除に係る研究に対しての協力を実施するほか、貝毒等の自主検査費用の支援や漁業共済掛金支援を実施することで、将来の水揚げ量増加に繋がるよう漁業経営体への支援を行った。	・水揚量減少の一因となっている貝毒の発生防止のため、多くの知見を有する東北大大学及び県水産技術センター等と情報交換等を行うとともに、調査・研究に際し、広田湾漁業協同組合とともに連携しながら、関係機関への協力を実施している。 また、漁業者の負担軽減のため、自主検査費用等に係る支援を行うとともに、岩手県に対して貝毒検査費用軽減のための新しい検査方法の導入を要望している。
		木ヤの水揚量	95,065	100,000	kg	95,445	53,222					E:進捗に大幅な遅れ	・貝毒の影響や海水温の上昇の影響によるへい死等により、年々水揚げ量が減少していることから、岩手県に対して原因の究明と抜本的対策を要望するとともに、貝毒等の自主検査費用の支援や漁業共済掛金支援を実施することで、将来の水揚げ量増加に繋がるよう漁業経営体への支援を行った。	・水揚量減少の一因となっている貝毒の発生防止のため、多くの知見を有する岩手県水産技術センター等と情報交換等を行うとともに、調査・研究に際し、広田湾漁業協同組合とともに連携しながら、関係機関への協力を実施している。 また、漁業者の負担軽減のため、自主検査費用等に係る支援を行うとともに、岩手県に対して貝毒検査費用軽減のための新しい検査方法の導入を要望している。
		ワカメの水揚量(生)	572,845	600,000	kg	365,174	409,331					E:進捗に大幅な遅れ	・急潮被害等により、水揚げ量の減少があったことから、破損したワカメ養殖施設の復旧のための費用支援を行ったほか、オンライン販売等の新しい生活様式に合わせた需要の開拓により、販売額の向上を図るとともに、漁業経営体への支援のため、漁業共済掛金支援を実施した。	・海水温の上昇等によって、養殖ロープに巻き付けた種糸が外れる「芽落ち」が発生し、水揚量が減少することから、養殖漁業者が芽落ちリスクを回避できるように、漁場における海水温や栄養塩等に係る環境調査を実施し、市のホームページで公表を行っている。 また、種糸を巻き付けする時期を前後に調整可能な半フリー種苗について漁業者が学べるように、種苗生産施設の視察会も実施している。
		ワカメの水揚量(塩蔵)	262,695	270,000	kg	211,125	181,958					E:進捗に大幅な遅れ	・急潮被害等により、水揚げ量の減少があったことから、破損したワカメ養殖施設の復旧のための費用支援を行ったほか、オンライン販売等の新しい生活様式に合わせた需要の開拓により、販売額の向上を図るとともに、漁業経営体への支援のため、漁業共済掛金支援を実施した。	・海水温の上昇等によって、養殖ロープに巻き付けた種糸が外れる「芽落ち」が発生し、水揚量が減少することから、養殖漁業者が芽落ちリスクを回避できるように、漁場における海水温や栄養塩等に係る環境調査を実施し、市のホームページで公表を行っている。 また、種糸を巻き付けする時期を前後に調整可能な半フリー種苗について漁業者が学べるように、種苗生産施設の視察会も実施している。
27 商工業の振興を図る	27 商工業の振興を図る	商工会新規会員数(累計)	17	77	事業所	36	47					A:順調に推移	・商工会を通じた経営改善普及や地域振興事業の実施への支援を実施したほか、経営発達支援事業を推進することにより商工業の活性化を図った。	・2024年度に引き続き、商工会を通じた経営改善普及や地域振興事業の実施を支援するほか、経営発達支援事業を推進することにより商工業の活性化を図っている。
		かさ上げ部の土地利活用予定の割合(面積比)	43.9	50.0	%	44.3	45.4					B:概ね順調に推移	・土地利活用促進パンクについて、土地利活用促進助成事業等の支援制度に係る要綱改正に併せてパンフレットを更新し、情報発信に努めた。	・土地利活用促進パンク及び支援制度の認知度向上を目的として、道の駅高田松原及び県内の住宅展示場等にパンフレットを配架し、情報発信に努めている。
		【再掲】再建した店舗のうちユニバーサルデザイン認証を受けた店舗の割合	21.8	50.0	%	21.0	19.7					D:進捗に遅れ	・認証件数1件。 引き続き事業者等に対してユニバーサルデザイン推進補助金の周知を行い、認証店舗の増加を図った。	・認証件数0件。 2024年度に引き続き、事業者等に対してユニバーサルデザイン推進補助金の周知を行い、認証店舗の増加を図る。
28 地産地消とブランド化を推進する	28 地産地消とブランド化を推進する	【再掲】たかたのゆめの生産高	261	300	t	248	217					D:進捗に遅れ	・作付農家数 24件(前年比-3) ・作付面積 50.3ha(前年比-3.1ha) ・収量実績 217.4t	・作付農家数 22件(前年比-2) ・作付面積 50.6ha(前年比+0.3ha) ・収量見込 245.4t
		【再掲】広田湾産イシカゲ貝の水揚量	84,248	100,000	kg	58,658	16,099					E:進捗に大幅な遅れ	・海水温の上昇の影響等によるへい死や育成不良等により、2年続けて水揚げ量が減少していることから、将来の安定した水揚げに向けて、人工種苗の生産技術確立に向けた研究支援などを行った。	・海水温の上昇の影響等によるへい死や育成不良によって水揚量の減少が生じていることから、イシカゲ貝生産組合が実施している人工種苗の生産技術確立に係る研究への支援を行うことで、水揚量の増加を図っている。 また、漁業者の負担軽減のため、自主検査費用等に係る支援を行うとともに、岩手県に対して検査費用軽減のための新しい検査方法の導入を要望している。
29 地域資源を活かした観光振興を推進する	29 地域資源を活かした観光振興を推進する	宿泊者数	38,965	70,000	人	42,196	42,352					C:進捗にやや遅れ	・観光周遊促進事業(高田旅バス)を実施した。 また、市内宿泊施設を利用した方を対象として、観光周遊バスポート「高田旅バス」を無料配布し、市内周遊を促進した(配布冊数5,753冊)。	・2024年度に引き続き、観光周遊促進事業(高田旅バス)を実施した。 また、市内宿泊施設を利用した方を対象として、観光周遊バスポート「高田旅バス」を無料配布し、市内周遊を促進している(配布冊数1,838冊)。
		観光入込客数	1,193	1,500	千人回	1,355	1,297					B:概ね順調に推移	○観光誘客促進事業を実施 ・三陸花火大会 約22,000人、三陸花火競技大会 約30,000人 ・高田松原・広田海水浴場 21,778人 ・道の駅高田松原 601,300人	○観光誘客促進事業を実施中 ・高田松原・広田海水浴場 29,865人 ・道の駅高田松原 306,600人

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況
基本理念3 次世代につなげる持続可能なまちづくり

基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値						進捗評価	2024年度取組実績	2025年度取組状況(令和7年8月末時点)
		指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028			
7 活気に満ちあふれ豊かに暮らすまちづくり	30 魅力ある雇用の創出と起業しやすい環境を整える	新規就職者数(累計)	1,296	3,100	人	1,629	1,933					B:概ね順調に推移	・ふるさとハローワークとの連携を図るとともに、就職相談会を実施した。	・2024年度に引き続き、ふるさとハローワークとの連携を図るとともに、就職相談会を実施している。
		市内における起業者の創出件数(累計)	53	70	件	57	64					A:順調に推移	・チャレンジショップ入居者の独立に向けた支援を実施したほか、引き続き陸前高田市新規起業者支援事業費補助金等により、起業家支援を行った。 ・補助金交付件数 7件 ・補助金交付金額 9,617千円	・2024年度に引き続き、チャレンジショップ入居者の独立に向けた支援を実施しているほか、陸前高田市新規起業者支援事業費補助金等により、起業家支援を行っている。 ・補助金交付決定件数 4件 ・補助金交付決定金額 5,494千円
		市内における事業拡大を行った事業者数(累計)	4	10	件	6	8					A:順調に推移	・陸前高田市事業拡大支援事業費補助金等により、事業拡大支援を行った。 ・補助金交付件数 2件 ・補助金交付金額 3,000千円	・陸前高田市事業拡大支援事業費補助金等を周知啓発することで、事業拡大支援を行っている。 ・補助金交付決定件数 1件 ・補助金交付決定金額 1,500千円

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況
基本理念3 次世代につなげる持続可能なまちづくり

基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値						進捗評価	2024年度取組実績	2025年度取組状況(令和7年8月末時点)
		指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028			
8 市民にわかりやすく健全な行政財政運営	31 健全な財政運営を推進する	実質公債費比率	14.2	17.0以下	%	13	11.6					A:順調に推移	・プライマリーバランスを意識した予算管理や交付税算入率の高い起債の選択などを行い、健全な財政運営の推進に努めた。	・プライマリーバランスを意識した予算管理や、交付税算入率の高い起債の活用により将来負担の抑制を図るなど、健全な財政運営に努めている。
		市公式ウェブサイト閲覧者数	299,649	317,700	人	345,551	276,116					D:進捗に遅れ	・閲覧者数 276,116人 ・ページビュー数 1,234,090	・閲覧者数 134,721人 ・ページビュー数 530,204
		市公式SNS(フェイスブック等)におけるフォロワー数	30,055	33,100	人	30,654	31,339					A:順調に推移	・Facebook 23,132人 ・X(旧Twitter) 5,925人 ・LINE 2,282人	・Facebook 23,003人 ・X(旧Twitter) 6,003人 ・LINE 2,556人
	32 広聴広報活動の充実を図る	公共無線LAN整備箇所数(累計)	30	35	箇所	30	30					C:進捗にやや遅れ	・2024年度の設置実績なし	・2025年度8月末時点で設置実績なし
	33 利便性の高い行政サービスを提供する													